

# 西多摩地区（奥多摩町）

## 公立小・中学校教員公募

### 巨樹と清流の町奥多摩で、町の宝を共育しよう

- ◎町内には、小学校が2校、中学校が1校あります。過疎化・少子化の影響で、児童・生徒数は少ないのですが、みんなとても素直な子供たちです。
- ◎この子供たちを、地域と一体となり、「共育」（保護者、学校及び地域の方々が共に育てる）しませんか？

#### 奥多摩町の教育について

町教育委員会の教育目標は、「住みたい 住み続けたい みんなが支える癒しのまち 奥多摩」をまちづくりのキャッチフレーズとする町の第5期長期総合計画を指針とし、次代の町を担っていく人材の育成を最重点課題に、知・徳・体の調和のとれた人間を育てるため、「確かな学力」、「豊かな心」、「健やかな体」を育成する教育を推進し、子供たちの「生きる力」を育む。そのために、学校、家庭、地域が連携し、だれもが生涯を通じて、学び、支え合うことのできる地域社会の実現と、まちづくりの基本方針の1つである「町の中と外から関心をもたれる教育のまちづくり」を推進していく、と定めています。

地域の活力と地域住民参加による地域に根ざした学校運営を通して、地域全体で子供たちを支えるため、学校・家庭・地域が連携し、地域住民の協力と参加による「開かれた学校づくり」を推進しています。平成29年度に中学校、平成30年度からは小学校にコミュニティ・スクールを導入し、小・中学校共通の学校運営協議会を設置することで今まで以上に小・中学校が連携を強め、義務教育9年間を見通した一貫した教育を実践しています。主体的・対話的で深い学びを実現するための学習ツールとして小・中学校ともに1人1台のタブレット端末を配備し、授業の活用に加え家庭への持ち帰りを推奨し家庭学習の充実に努め、小学校から9年間見据えたICT教育の推進を図っています。

#### こんな先生が欲しいのです。



##### ① 奥多摩の子供たちは？

明るく素直で、何事にもまじめに取り組む児童・生徒が多く、異年齢集団の活動も活発です。しかし、幼少期から中学校卒業まで同じ学級で生活するなど人とのかかわりが限られているため、友人関係が固定化したり、切磋琢磨する機会が少なかったりして向上心にかける傾向もあります。このような子供たちの心と体を強く育ててもらえる意欲ある先生を募集します。

##### ② 地域と共に子供たちを育てましょう。チャレンジ精神旺盛な先生が必要です。

町の宝である次代を担う子供たちを地域と共に育てていこうとする、意欲のある先生を待っています。奥多摩町はこの東京にあって、稀有な水と緑が豊かな自然に恵まれた奥多摩で、子供たちのために何ができるのかを考え、実践できる先生が必要です。

## ○各学校の特色ある教育活動の紹介

### ☆古里(こり)小学校 (ホームページは、<https://rlco.jp/kori/>)

古里小学校では、奥多摩町の自然や地域人材を教育資源とし、体験を通して学習することを大切にしています。奥多摩ならではのヤマメの飼育やシイタケ、ワサビの栽培体験なども行っています。

町の研究指定校として「自分の考えをもち、表現できる児童の育成」を研究主題として、生活科及び総合的な学習の時間の時間を中心に、ESD・SDGs との関連を図りながら研究を進めています。

#### ・教育目標 「いのちを大切に 共に輝き 生きていこう」

- かしこく……学ぶ楽しさを知り、生活に生かすことができる児童
- なかよく……人と心を通わせ、互いの良さを生かすことができる児童
- たくましく……心身ともに丈夫で、より良く生きていくことができる児童

#### 1 「かしこく」 学ぶ楽しさを知り、学びを生活に生かせる子に

- ・ 校内研究を中心に、自分の考えをもち、表現できる児童の育成
- ・ 全教科で課題解決・探究学習を進め、主体的な気付きと学びの力の向上
- ・ 習熟度別指導、特別支援教育の推進による個に応じた指導の充実
- ・ 読書、「書く」「話し合う」活動の重視、詩の暗唱・音読、落語教室等の言語活動の推進
- ・ ICT 機器各種、一人一台タブレット型 PC の効果的な活用
- ・ 学校生活全般にわたり ALT との充実したふれ合いによる外国語活動の推進

#### 2 「なかよく」人と心を通わせ、互いの良さを生かして生活できる子に

- ・ 特性に応じた学びの場の整備、自己有用感・自己肯定感を高める指導・支援の推進
- ・ 1年生から6年生までの縦割り班を基にした学習や諸活動の充実
- ・ 特別支援学級との交流及び共同学習の充実
- ・ 高齢者施設訪問、保育園訪問等による福祉学習の充実
- ・ 1～6学年それぞれにおける町内小学校との交流学習の実施
- ・ 横田基地メンデル小学校、オーストラリア・パイロンベイ高校との交流

#### 3 「たくましく」健康で丈夫な体と、健やかで豊かな心をもつ子に

- ・ 体力向上を目指した運動遊びの場の設定、長縄跳び、縄跳び旬間、持久走旬間等の実施
- ・ 家庭との連携による保健指導、メディアチェック週間の実施
- ・ 地域を生かした体験学習（シイタケ・ワサビの栽培、治助芋・サツマイモ掘り、林業体験、ヨモギ団子作り、ヤマメの飼育など）
- ・ 地域や保護者の方々と連携した活動の実施（民舞、陶芸、生け花、絵手紙、百人一首、押し花、茶道、箏、篠笛など）
- ・ 町内2校合同4、5、6各学年移動教室、特別支援学級における宿泊学習の実施

## ○各学校の特色ある教育活動の紹介

### ☆氷川(ひかわ)小学校 (ホームページは、<https://www.rlco.jp/hikawasyo/>)

氷川小学校は、氷川地区、日原地区、小河内地区を含め、奥多摩町の約8割を占める面積を学区域に抱える東京都で最西端にある小学校です。自然豊かな教育環境を生かした体験学習を多く取り入れています。各学年10名ほどの小規模校で、児童一人一人、丁寧に指導をしています。

#### ・教育目標

- 自ら進んで学ぶ子 「主体性」「開拓力」「問題解決力」
- 仲よくやさしい子 「協調性」「共感力」「協働力」
- 健康で明るい子 「自律性」「体力」「健康維持能力」

#### (1)自ら進んで学ぶ子 「主体性」「開拓力」「問題解決力」

- ・全教科で課題解決学習（自力解決、学び合い、振り返り）充実を図っています。
- ・算数科の学習では、小規模校の学級を更に習熟度別に2展開に分け、個の課題に応じてきめ細かく指導しています。
- ・一人1台のタブレット型端末を使って、一人一人の学習状況に応じた課題設定をしています。
- ・地域の自然や産業・文化を教材として活用し、探究的な体験学習を展開しています。  
(氷川獅子、山葵・椎茸等栽培飼育、水干登山、沢登り、林業体験等)
- ・ALTが常勤しており、英語教育の充実を図っています。
- ・「自己の学習を調整しながら主体的に学びを楽しむ児童の育成」を研究テーマに、個別最適な学び・協働的な学習について授業を中心に研究を進めています。

#### (2)仲よくやさしい子 「協調性」「共感力」「協働力」

- ・縦割り班活動を通しての異学年交流が盛んです。
- ・地域人材をゲストティーチャーに招き、地域学習を充実させ、郷土愛を育てています。
- ・全教育活動における道徳教育を、意図的・計画的に実施して、心の豊かさを育てています。
- ・4年の都内移動教室、5年の伊豆移動教室、6年の日光移動教室は、古里小学校と合同で開催し、中学進学後の交友関係の構築を支援しています。
- ・校内支援員会を定期的に開催し、他機関と連携しながら、特別支援教育の充実を図っています。
- ・児童が主体的に取り組むことのできる特別活動、学校行事に取り組んでいます。

#### (3)健康で明るい子 「自律性」「体力」「健康維持能力」

- ・Tokyoスポーツ推進事業の一環でボルダリングやライフキネティックに取り組んでいます。
- ・1学級1取組で長縄連続跳びや遊具遊びなどに取り組んでいます。
- ・月2回の木曜日、ロング遊びでは掃除の時間を無くし、たっぷり40分間、子どもも大人も集団で遊べます。
- ・メディアチェック週間や学校保健委員会等、家庭、地域と連携して健康維持能力の育成を図っています。

【ひ】一人一人、輝く個性を存分に発揮

【か】感謝 感激 感動

【わ】和（誠実さや思いやり） 輪（仲間とのつながりを大切に）

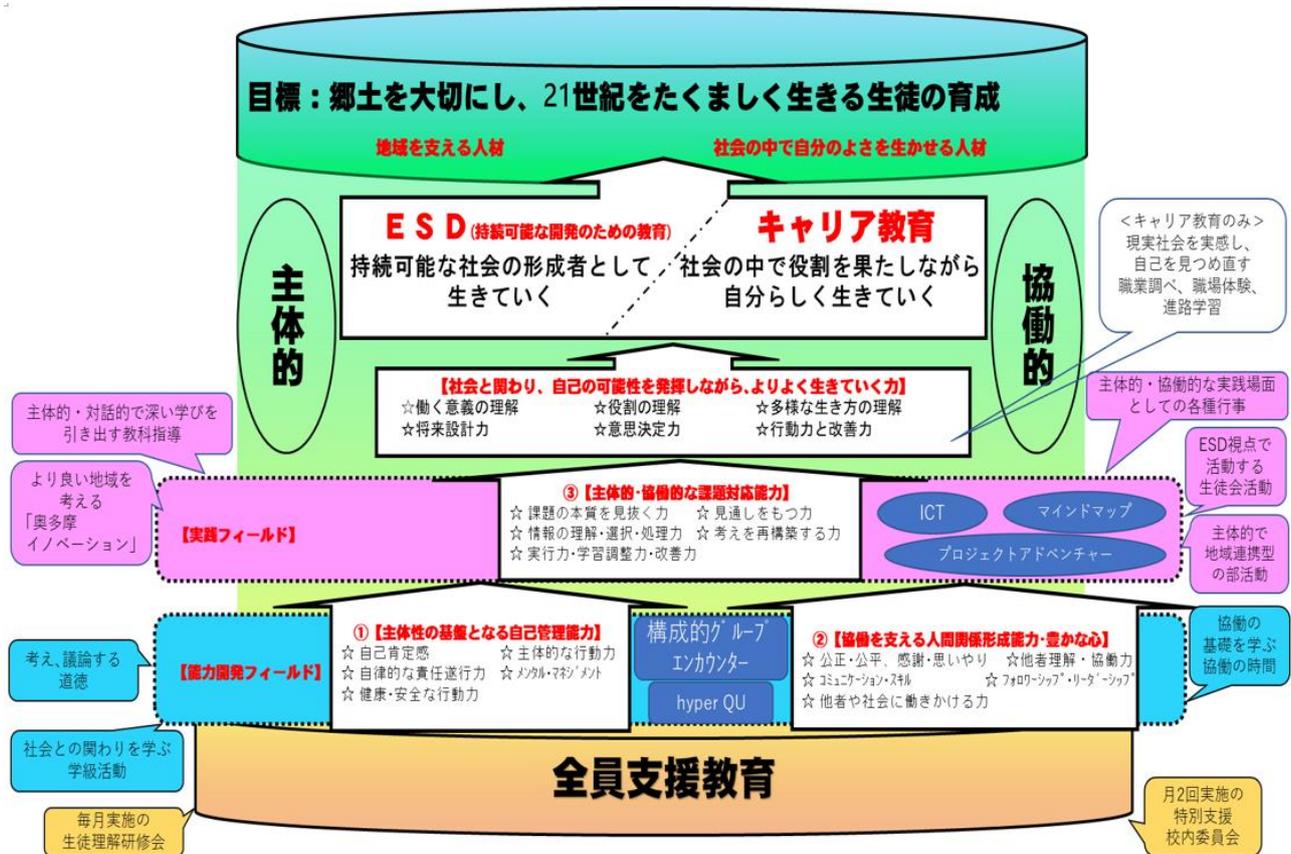
を合言葉に、全教職員が協力して教育活動にあたっています。

## ○各学校の特色ある教育活動の紹介

### ☆奥多摩中学校 (ホームページは、<http://www.okutama.jhs.jp>)

本校は、小学校を含めたコミュニティースクールとして地域とともに学校づくりを行っています。

【奥多摩中学校教育構想図】



本校の教育の基盤は、「全員支援教育」です。これは、全ての生徒に対して、必要なときに必要な支援を組織的に施していくもので、本校の全教育活動に貫かれた基本理念です。これを基盤に、教育目標達成に向け、「地域を支える人材」と「社会の中で自分のよさを生かせる人材」の育成を目指し、ESDとキャリア教育を柱に計画的・継続的に教育活動に取り組んでいます。

### (1)「生徒に身に付けさせたい3+1の力」(主体的・協働的な学びを通して)

- ① 「主体性の基盤となる自己管理能力」
- ② 「協働を支える人間関係形成能力・豊かな心」
- ③ 「主体的・協働的な課題対応能力」

以上の力を基に、自らの将来を考えることを通して「社会と関わり、自己の可能性を發揮しながら、よりよく生きていく力」の習得を促します。

### (2) 確実な学びを促す2つのフィールド

〔能力開発フィールド〕：各教科、道徳科及び学級活動等の中で①～③の力の知識・技能の習得を促します。

〔実践フィールド〕：総合的な学習の時間や各種行事等の中で①～③の力の実践的活用を促します。

学びの場を、以上2つのフィールドに分け、カリキュラム・マネジメントを工夫し、効率的に教育実践を行い、知識・技能とその実践力の獲得を促します。効果的な学びにつなげるために、「ICT 機器」「マインドマップの手法」「プロジェクトアドベンチャーや構成的グループエンカウンター」の手法を積極的に活用しています。

その他、「オーストラリア海外派遣事業」等、町や地域との連携事業に協力できる先生、そして一緒に盛り上げてくれる先生を求めます。